

講座の目的： e-Stat（政府統計の総合窓口）、統計GIS※<sup>1</sup>、API機能※<sup>2</sup>  
を使い、統計オープンデータを活用したデータ分析の基本的な知識を習得する

開 講 日：平成29年6月6日（予定）

学 習 時 間：1回10分程度×5～7回程度（1週間）×4週

課 題：各週の確認テストと最終課題の実施

講 師：西内啓氏（統計家）、小谷祐一郎氏（「GEEO※<sup>3</sup>」開発者）、  
総務省統計局及び（独）統計センター職員



週	各週のテーマ	内 容
1	e-Statを使ったデータ分析	e-Statの統計データを活用したデータ分析の事例を学ぶ （e-Statの機能紹介、活用事例紹介等）
2	公的統計データの使い方	公的統計データの基本事項及び読み方を学ぶ （公的統計の種類と体系、労働力調査・家計調査の基礎知識及び利用の際のポイント等）
3	統計GIS※ <sup>1</sup> の活用	統計データと地図を組み合わせた統計GIS※ <sup>1</sup> の活用方法を学ぶ （jSTAT MAPの機能紹介、簡単にできるレポート作成、活用事例紹介等）
4	統計オープンデータの高度利用	統計API機能※ <sup>2</sup> の仕組みや具体的な活用事例等の統計オープンデータの高度な活用方法を学ぶ （統計APIの仕組み、統計オープンデータの活用事例、講座のまとめ等）

※<sup>1</sup> 地図による小地域分析（jSTAT MAP）

※<sup>2</sup> プログラムが自動でデータを取得できるようになる機能

※<sup>3</sup> 「GEEO（ジオ）」は不動産販売価格予測サイト